

29年度はどう変わる?

# 札幌のまちと暮らし

市の平成29年度予算がまとまりました。今回の特集では、市のお金の使い道を紹介し、札幌のまちや暮らしがどのように変わるのかを見ていきます。

このページに関する問い合わせは  
財政課 ☎211-2212

僕と一緒に見てみよう！

教えて！おサイフくん



## 平成29年度の予算をチェック

予算は、市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見込みを表したものです



予算は3種類のお財布に分かれています

**一般会計 9,965億円**

福祉や教育、除雪など市の基本的な事業の会計

**特別会計 3,977億円**

国民健康保険、介護保険など一般会計とは区別が必要な会計

**企業会計 2,590億円**

水道、地下鉄など料金収入で運営している事業の会計

### 一般会計予算のポイント

- 人口減少社会を見据えて、子育て支援や経済の活性化に力を入れています
- 予算総額は、これまで北海道が負担していた教職員の給与を市が支払うようになったことなどから、前年度より6.4%増加。ただし、この影響を除くと9,207億円となり、1.7%減少しています

市民の皆さんからの税金、国や北海道から交付されるお金など

**歳入**  
9,965億円

個人市民税や固定資産税が増えたことなどにより、前年度から36億円増

教職員の給与や障がい福祉の費用などの増加に伴い国の負担や補助が増えたため、前年度から116億円増

<b>市税</b> 2,882億円	<b>国庫支出金</b> 2,174億円	<b>市債</b> 1,185億円	<b>地方交付税</b> 1,034億円	<b>諸収入</b> 998億円	<b>その他</b> 1,692億円
----------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	---------------------	-----------------------

医療、除雪・排雪、道路や公園の整備、職員の給与にかかるお金など

**歳出**  
9,965億円

保育施策の充実や障がい福祉サービスの利用増加などにより、前年度から66億円増

教職員の給与を市が負担することなどにより、前年度から729億円増

<b>保健福祉費</b> 3,657億円	<b>職員費</b> 1,591億円	<b>土木費</b> 1,064億円	<b>経済費</b> 861億円	<b>公債費</b> 848億円	<b>その他</b> 1,944億円
-------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	-----------------------

# 暮らし・コミュニティ

子育て支援や福祉サービス、地域活動などを充実させて、子育て中の方や障がいのある方など、誰もが安心して暮らせる社会をつくれます。



子育て

私立保育所、認定こども園などの定員を1,069人分増員

24億2,400万円



保育施設の整備にかかる費用を補助。私立保育所は500人分、認定こども園は360人分、小規模保育事業所は209人分の定員を増やします。



子育て

3歳未満の第2子の保育料を無料に

6億800万円(歳入の減少を含んだ影響額)

これまで認可保育所などの施設に2人以上同時に入所していた場合、上から数えて2人目の子の保育料は半額以下でしたが、このうち3歳未満の子については4月から保育料を無料にします。

4月  
から

子どもには  
いろいろな  
スポーツを体験  
させてあげたいね



子ども

子どもたちがウィンタースポーツに触れる機会を充実

5,600万円

子どもたちのウィンタースポーツへの関心を高めるために、カーリングやフィギュアスケートなど6種目の体験教室を実施するほか、スキー学習やスポーツ少年団に指導者を派遣します。



福祉

援助や配慮が必要なことを伝えるヘルプマークを導入

390万円

義足や内部障がい、難病などの方が、周囲に援助や配慮が必要なことを知らせるマークを導入。マークの入ったストラップやカードを希望者に配布します。



↑ストラップは鞆などに付けられます

秋ごろ  
から



地域

町内会や地域の団体が行う活動への支援を強化

9,500万円

地域活動に参加するきっかけづくりや、町内会活動をより活性化するための取り組み、地域活動拠点の整備補助などを実施します。



医療

不育症の治療にかかる医療費の一部を助成

560万円

妊娠をしても流産や死産を繰り返してしまう不育症と診断された夫婦を対象に、指定された医療機関で行った検査や治療にかかる費用を一部助成します。



福祉

特別養護老人ホームの新設や設備の改修

8億4,600万円

特別養護老人ホーム3施設240人分の新設費用を補助。このほか、相部屋に住む方々のプライバシーを保護するために、新たに設置する建具と壁の費用を補助します。

# 産業・活力

道外企業を呼び込むとともに、市内の中小企業などの研究開発の支援を行い、足腰の強い経済基盤をつくります。



企業の立地を支援し、雇用を創出

15億円

企業の本社機能や、IT企業、健康福祉・医療系の企業などを積極的に誘致。安定した雇用を生み出し、経済を活発にする取り組みに力を入れていきます。



人工知能(AI)など最先端の情報通信技術を活用した産業を支援

1億1,900万円

市コールセンターに集まったデータを基にAI関連技術の活用を検証する実験や、地下歩行空間を行き交う人の流れ・属性など大量の情報(ビッグデータ)を先端技術により収集・活用する取り組みを、企業や市などが共同で実施。市内IT企業などの活性化を進めます。



大規模な国際会議などの開催を推進

1億6,700万円

国内外から国際会議や学術会議などのMICE\*を誘致するとともに、国際会議場・展示場の整備の検討を進め、札幌に人を呼び込み、観光産業をさらに盛り上げていきます。

\*MICE…多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称



教えておサイフくん!



いろいろな取り組みをするのは分かったけれど…札幌の財政は大丈夫?



最も多かった平成15年度と比べて市債残高は約4,500億円減少しています



今後とも古くなった建物や道路の更新などにより市債残高が増えることが予想されるため、事業の選択と集中を進めていきます。

\*本来、国が現金で交付すべきお金を市が一時的に借金をして賄っているもの。返済のお金は国から補填される

借金による負担が多くなり過ぎないように抑えています

■財政指標(平成27年度決算)

指標 (数値が小さいほど負担が少ない)	札幌市	政令市平均
実質公債費比率 財政規模に対する年間の借金返済額の割合	4.9%	10.2%
将来負担比率 財政規模に対する現在抱える負債の大きさの割合	61.8%	112.5%

これまで歳入などの状況に見合ったお金の使い方をしてきたことで、健全な状態を保ってきました。今後も社会情勢を注視しながら、堅実な財政運営を続けていきます





## 札幌国際芸術祭2017が開幕

4億5,000万円

開催期間  
8/6(日)~10/1(日)

3年に1度開催するアートの祭典で、今回は「芸術祭ってなんだ?」をテーマに、世界で活躍するアーティストが従来の枠にとられない企画や作品を展開。アートに触れる楽しさを実感できる芸術祭を、市民の皆さんと一緒につくり上げていきます。



参考画像:大友 良英+青山 泰知+伊藤 隆之<(without records - mot ver. 2015)> 撮影:丸尾 隆一



↑小学生から18歳までで結成するコレクティブ・オーケストラ。音を組み合わせて音楽を形づくり、芸術祭で発表

↳加工されたレコードプレーヤーを空間に多数配置する作品「without records」の新作を、モエレ沼公園で展示



## 冬季オリンピック・パラリンピックの招致を推進

6,300万円

競技施設の配置や札幌ドーム周辺の活用方法を検討するほか、小学生を対象にオリンピックミュージアムを巡るガイドツアーを行うなど、招致へ向けた取り組みを進めます。



↑SAJ29承認  
第00608号

撮影:薬師 洋行



## 女性が輝くまちづくりを応援

1,000万円

起業家や地域で活躍している方などの女性を中心に構成する「(仮称)女性応援会議」を設置。女性一人一人が希望に応じて活躍できる社会の実現を目指し、施策を検討します。



子育て中の私たちにも社会でもっと活躍できるチャンスが広がるといいな



## 先進的な医療分野の研究の事業化などを後押し

3,000万円

医療に関連した先進的な研究を広く紹介するセミナーを実施。このほか、研究と企業を結び付けて事業化を後押しする仕組みなどを通して、医療関連産業の活性化につなげます。



## 中小企業などが行う新製品の研究開発を支援

8,200万円

食、健康福祉、医療、IT、エネルギーなどの分野に関連する新製品・新技術の研究開発に取り組む、市内の中小企業や小規模事業者を支援します。

# 低炭素社会・エネルギー転換

エネルギー効率の高い技術の導入などを支援しながら、環境負荷を低減した持続可能なまちづくりを進めます。



## 新エネルギー・省エネルギー機器を購入する費用の一部を補助

2億9,055万円

太陽光発電や蓄電池、ガスにより発電するシステムなどを導入する方に対し、費用の一部を補助。一般家庭のほか、中小企業、町内会なども対象です。



## 二酸化炭素の排出量が少ない次世代自動車の利用を促進

6,900万円

電気自動車などの購入費を補助するほか、燃料電池自動車に水素を供給する水素ステーションの整備に向け、新たに補助制度を創設します。



↑昨年7月に札幌で開催した「世界冬の都市市長会議」で燃料電池自動車の試乗会を実施



経済活動の支援だけではなく、環境にも配慮しているんだね

# 都市空間

将来を見据えた都心のあり方を検討するとともに、新たな施設の整備などを行い、魅力と活力にあふれる街を目指します。



**市民交流プラザの  
開設準備を加速**  
127億5,400万円

平成30年  
10月開館予定

地下鉄大通駅の  
地下通路と直結  
するんだって！



イメージ

オペラやバレエなどの公演が行われる劇場や夜間も利用できる図書施設を備える市民交流プラザを北1西1に建設。文化芸術や市民活動の新たな拠点を生み出します。



イメージ



**中央体育館の  
移転改築工事を開始**  
26億3,000万円

平成31年  
4月開館予定

現在の中央体育館を北4東6地区に移転改築し、面積を約2.5倍に拡大。ランニングコースやトレーニング室などを新たに設置し、より多くの方が利用できる施設になります。



イメージ



**誰もが利用しやすい構造の  
タクシーやバスの導入を促進**  
5,100万円



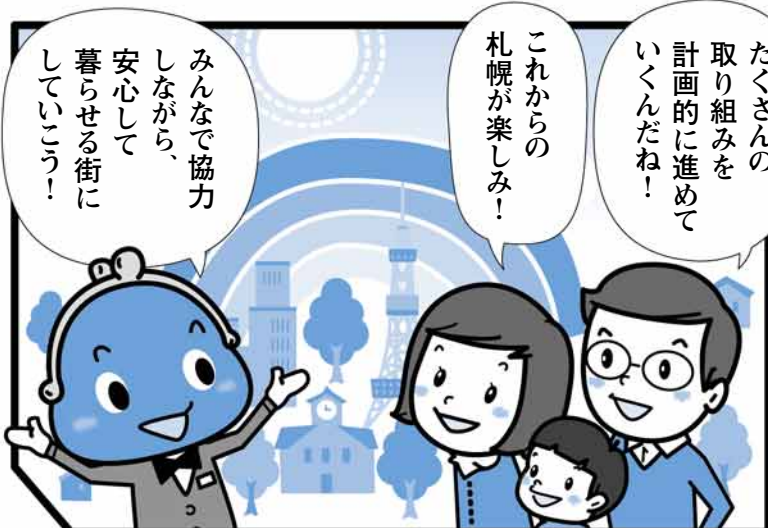
車いす使用者や高齢者も利用しやすい、スロープを備えたタクシーや、段差のないノンステップバスの購入費用を補助するなど、交通の利便性向上を図ります。



**街の顔となる札幌駅周辺の  
まちづくり計画を作成**  
1,450万円



平成42年度末に予定される北海道新幹線の札幌延伸を見据えて、札幌駅周辺の魅力をさらに高め、新たなにぎわいを生み出すための計画を作ります。



市の予算や財政状況を解説！  
「さっぽろのおサイフ」を  
4/10(月)から配布します



市の予算の仕組みなどを漫画やイラストで分かりやすく紹介したパンフレットです。

**配布場所**  
区役所、まちづくりセンター ほか